

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101440
事業所名	グループホーム燦ふくおか Aユニット

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	現在、同法人の運営する特養施設がその立場にあるように、ユニットを増やした事を機会に地域の福祉の拠点になる事を目指している。 地域へ出て、婦人会の講習会や地域の防災訓練等に積極的に参加している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	市・地区総代・老人会会長・民生委員・地域福祉委員・家族代表・知見者（系列小規模多機能施設）がメンバーであり、既定どおりの会議が行われている。 ホームからの報告に留まらず、積極的な意見交換がある。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	介護相談員の受け入れや運営推進会議のメンバーに参加してもらい、顔馴染みの関係を構築している。 問題が生じた場合、市の担当者に連絡をし、無事解決したこともある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議への家族の出席も多く、積極的な意見が出されている。 家族アンケートでは、8割の家族がコメントを記述しており、家族が意見を述べやすい雰囲気が醸成されていることの証明となっている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総 合 評 価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確 認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。